



HANA 奥武蔵の花

施設隣接型小中一貫校 奥武蔵創造学園

飯能市立奥武蔵中学校
学校だより 第7号

令和4年10月1日
校長 安田 孝之

体育祭から学ぶ

今年4回目を数える体育祭は、9月10日に予定通り実施することができました。開催会場が「奥武蔵小学校」に急遽変更となりましたが、凶らずも多くの成果を得ることができました。

酷暑といわれる夏休みから一転して、2学期が始まると秋雨が続きました。校庭での練習がほとんどできないまま体育祭を週末に迎えることとなった月曜日の午後。水はけがとても良い小学校の校庭を借りて練習を行ったのが発端でした。小学校の福島校長からの計らいもあり、不自由なく練習を行うことができ、そこで本校の多くの職員は、両校のグランドコンディションの違いを実感しました。その後、体育祭前日までの天候が芳しくない状況を案じた体育主任から小学校で体育祭を実施する提案があり、当日を迎えたのでした。

会場変更に伴う計画の修正をはじめ、当日の行動は綿密に確認が重ねられました。併せて用具を融通する等たくさんの協力をいただきました。当初から小中のダンス交流を予定していたのですが、会場が小学校となった故に全校児童が中学生の活躍に目を丸くして声援を送る姿がとても印象的でした。また、私達も中学生となり逞しくなった姿を披露する格好の機会にもなりました。様々なところで小中一貫校としての良さを実感しました。

転じて生徒達は、団長をリーダーに練習をするに従って結束力と集中力が日を追うごとに高まり、みんなの表情が引き締まっていくのを実感しました。3年生は、体育祭を成功させるために後輩をけん引していく気概を感じ、2年生は後輩の手本となるように率先して行動する姿勢が前面に表れていました。そして1年生は、小学校と全く違った生徒中心による練習に戸惑いながらも話し合いや学年を越えた練習を通じて先輩と後輩の関係や3

年生の力強さを実感し、尊敬と憧れと共に奥中生の自覚を一層高める機会となったのではないのでしょうか。

日頃は少人数による学校生活のため他者との優劣をあまり意識しないのですが、体育祭は個々の結果が団の勝敗に結びつく・・・勝ちにこだわることを目標としていました。勝負に勝ち負けは当然のこと。そこに至るプロセスこそが大切であることを2学期当初から生徒に伝えてきました。その過程で何を感じるか、結果を得た次に君たちは何を考えるのか。生徒には、今回の経験を通して学びとって欲しいものです。

HANAことば

大きな行事を行うにあたり、環境整備は、成功につなげる大きな要因となります。8月下旬の環境整備では、保護者をはじめ地域の方々に大変お世話になりました。今回の小学校での急な開催では、本校の川上さんをはじめ、小学校の方々のお力添えに心から感謝します！

